

第 1 回ワークとりまとめ結果（問立て）

1 「誰・何」に対して

- ・ 向上意欲のある就活女学生に
- ・ 子どもが熱を出した女性
- ・ 共働きの子育て女性
- ・ 産後も仕事をしっかりやりたい女性
- ・ 出産後は仕事をスローダウンしたい女性
- ・ 自分の仕事のスキルに自身が持てない女性
- ・ 年齢的に無力さを感じている女性
- ・ 子育ては女性がするべきと考えるために動けない人
- ・ 子育ては女性がするのが当たり前と思っている人
- ・ 車を持っていないから動けないと思っている人
- ・ 共同参画に遅れている会社
- ・ 男女の正規雇用が 1 対 1 になっていない企業や組織
- ・ 育休を取ることに罪悪感を感じる人
- ・ 小さな会社（1）
- ・ 家庭に入っていて働きたいけど自信がない女性（4）
- ・ 子育てでの挫折感を味わって自信を無くした女性（1）
- ・ 周りに頼れる親や友だちのいない孤育てママ
- ・ 経営層・管理職
- ・ 職場において決定権のある管理職
- ・ 女性活躍と言いつつ女性管理職は多くない会社
- ・ 子育てしながら働く人と同じ部署のスタッフ（2）
- ・ 子育てによりキャリアを中断する女性
- ・ 女性特有の健康課題が分からない男性（3）
- ・ 女性活躍に理解がある人
- ・ 昔ながらの考えを持つ年配男性
- ・ 昭和に執着している人（2）
- ・ 古い価値観・仕事観を持つ人
- ・ 昔ながらの性別役割分担意識を持つ人
- ・ 起業を考えている女性（3）
- ・ 団体等の会議で発言できない女性
- ・ 会社で意見を言いにくい女性
- ・ 育児中の共働き夫婦
- ・ 女性のキャリアアップ？
- ・ 子育てに悩んでいる夫婦

2 「 」することで

- ・給与の高い魅力ある企業が増える
- ・快く受け入れてくれる上司や企業が増える（１）
- ・家事代行やベビーシッターを気軽に頼めるようにする（３）
- ・パートナーが時短勤務できるようにする
- ・強制的に子育てする時間を作らせる
- ・先進企業へ出向させる
- ・それがすでにできている場所で研修させる
- ・令和の楽しいイベントに参加させる
- ・三井住友海上に出向して働いてもらう
- ・再度キャリアを一定期間後にスタートできる
- ・成功体験を積み重ねる
- ・年を重ねてもいきいき働ける場や人を見る
- ・子育てしながらでも家やオンラインでできることを知る（１）
- ・自転車屋バス・徒歩／オンラインでもできると納得する
- ・意見を聞く（発言の機会を設ける）ことで／女性の割合を増やす
- ・相談・支援や女性経営者のロールモデルに出会う機会をつくる
- ・話をよく聞く／仲良くする
- ・まわりの社員の理解や声掛け、支援や制度を設ける
- ・働く日にち・時間・場所を自由に選べる仕組みを作る
- ・現場で困っている女性の具体的な意見を知ってもらう（１）
- ・子育て後の女性にスポットをあてる
- ・手当をつける／会社の制度の見直しを行う（３）
- ・仲間づくりの環境を整える（１）
- ・女性特有の女性ホルモンによる影響を知ってもらう
- ・地域コミュニティ（町内会など）に参加しやすい体制を作る（２）
- ・お互いに業務交換してみる（１）
- ・在宅勤務や復帰するまでの支援体制をつくる
- ・会社の近くに保育園や病院がまとまっている（１）
- ・女性著名人から強めの説教（５）
- ・３人以上の子育てを経験した夫婦と座談会を行う
- ・あなた自身に価値があるよ、十分できているよと自分で認めている
- ・会社の体制を見直しアンコンシャスバイアスをなくす（１）
- ・男女平等に育児に関わる
- ・御家族の理解獲得や子育て支援を充実する

3 変容 ～「 」することができるだろうか

- ・ 旭川に残る・来る若い女性が増える
- ・ 女性でもバリバリ稼ごうと思うようになる
- ・ キャリアを止めずに働くことができるようになる
- ・ 長期的に働くことができる（１）
- ・ 長く働ける女性が増える
- ・ 継続的に働ける
- ・ 困っていることや悩みを伝えることをやめない
- ・ 一歩踏み出すこと
- ・ 参加しやすく新たな意見・価値が生まれる
- ・ 頑張るやりがいを持つ
- ・ 自信を持ってチャレンジできるようになる（１）
- ・ 自分にもできるかもと勇気が湧く
- ・ 社会貢献している意識から自己肯定感が上がる
- ・ SNS を多角的にできるようになる
- ・ 楽しみを見つけることができるようになる
- ・ 新しい気付きが生まれる・新しい気付きを学ぶ・新しい発見を見付ける
- ・ 遠慮せずに休むことができるようになる
- ・ フォローする側もされる側も平等に働ける
- ・ 快く産休をとらせてあげることができる
- ・ 少しずつ働くことに自身をつけることができる
- ・ 地域みんなで楽しく子育てができる（２）
- ・ 互いの負担や思いを手取り早く知ることができる
- ・ また仕事したいといきいきと仕事する人が増える
- ・ 仕事に専念したり好きなことに力を注ぐことができる
- ・ 誰もが活躍しやりがいを持つことができる
- ・ 仕事とプライベートが完全に両立する
- ・ 男女による生理的な変化を理解できる
- ・ 必要なサポート内容が考えらえる
- ・ 楽しく対策できる
- ・ 性差によって担える業務・役割に制約がない会社・組織づくりができる
- ・ プライベート（家庭・子ども）のために堂々と休みをとれる（短・中・長期）
- ・ 育児・介護休業をしてもキャリアに影響しない（昇給・評価）
- ・ 子育てと仕事の両立を考えられる
- ・ 働き続ける将来が見える／目標となる先輩が見つかる
- ・ 応援手当を他の人がもらえるのを感じたら考えが変わるかも（４）